

RIGHT関数

指定された値の末尾から指定した数の文字を返す

◇機能

指定された値の末尾から指定した数の文字を返します。半角文字も全角文字も1文字としてカウントされます。

◇構文

RIGHT(取得対象文字列,取得文字数,スペース処理方法)

引数	入力内容
1	取得対象文字列 文字を取り出したいフィールド（文字型、数値型、日付時刻型）またはリテラル値、式を指定します。 ● 数値型フィールドの小数点、マイナス記号も1文字としてカウントされます。 ● 数値型フィールドの桁区切りのカンマは無視されます。 ● 日付時刻型フィールドの「/」「:」の記号も1文字としてカウントされます。
2	取得文字数 取り出したい文字数を数値で指定します。
3	スペース処理方法 「取得対象文字列」の値のスペースの処理方法を指定します。スペースの半角・全角は区別されません。 0：末尾のスペースを除去して文字数をカウントする 1：末尾のスペースを除去せずに文字数をカウントする

RIGHT(取得対象文字列,取得文字数)

取得対象文字列 取得対象となる文字列やフィールド名を指定します。

取得文字数 末尾から取り出したい文字数を数字で指定します。

スペース処理方法 文字列の末尾のスペース処理方法を指定します。

文字列（または指定したフィールド）の末尾から指定された数の文字を返します。（半角も全角も1文字）

- 取得対象文字列：フィールド名を指定した場合は、指定フィールドの各レコードの文字列を対象に取得します。
- 取得文字数：末尾から何文字分の文字を取得するか、数字で指定します。
- スペース処理方法：末尾にスペースが含まれている場合に当該スペースの処理方法を選択します。
0：文字列の末尾のスペースを除去して文字を取得します。
1：文字列の末尾のスペースを含めて文字を取得します。

【スクリプト例】
RIGHT([フィールド名], 3, 0)
「フィールド名」フィールドの各レコードのうち、末尾のスペースを除去してから3文字分の文字を取得します。

OK キャンセル

◇戻り値のデータ型

文字型

◇処理の例

例	式	フィールドの値	戻り値	説明
「商品名」フィールドの 末尾3字を取得する	RIGHT([商品名],3,0)	ギフトBOX■	BOX	末尾の半角スペース1 文字を含めて3文字が 返されます。
	RIGHT([商品名],3,1)	※ここでは、■を半 角スペースとします。	OX■	
「金額」フィールド (数値型)の末尾 7字を取得する	RIGHT([金額],7,0)	1234.56	1234.56	桁区切りのカンマは無 視されます。
		1,234.56	1234.56	